

2021年12月13日
丸紅プラックス株式会社

劣化診断技術を用いた EV バス普及に向けた蓄電池ライフタイムコストと
バス EV 化の総合検証について

丸紅プラックス株式会社（以下「丸紅プラックス」）は、環境省の受託事業として、株式会社オリエンタルコンサルタンツ（以下「オリエンタルコンサルタンツ」）、株式会社東芝（以下「東芝」）、株式会社みちのりホールディングス（以下「みちのりホールディングス」）、株式会社フラットフィールド（以下「フラットフィールド」）、丸紅株式会社（以下「丸紅」）の計 6 社による共同事業体を組成し、岩手県宮古市の協力を得て、蓄電池のライフタイムコスト低減及びバスの EV 化の総合検証に関する実証事業を行います。

この実証事業は環境省の「令和 3 年度電動トラック・バスにおける性能評価実証事業」に選ばれたもので、EV バスで経年使用した蓄電池の EV バス継続利用における寿命、その後の利活用を見える化（定量化）することで、長期間安心して利用できる EV バスの仕組みを生み出し、「適切な劣化診断技術による蓄電池の性能把握」及び「長期利用の検証」を進め、「経年使用後の蓄電池の実用的な用途を明確」にすることで、国内 EV バスの経済優位性実証に加え、リースやカスケード利用などを総合的に取り入れたビジネスモデルを構築し、国内の EV バス普及促進を図ることを目的として取り組むものです。

<実証事業概要>

期間： 2021 年下期～2023 年度末（予定）

場所： 岩手県宮古市

<各社役割>

オリエンタルコンサルタンツ：全体調整

東芝：劣化診断技術によるデータ解析、急速充電器改造

みちのりホールディングス：EV バス運行、V2X 検証

フラットフィールド：EV バス車両改良

丸紅プラックス：事業性評価、事業化検討

丸紅：事業性評価、事業化検討

以上